

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 1 月 1 7 日 (1 3 : 3 0 ~ 1 4 : 3 0)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 竹内、柿田、松川、平木、森田、横田、西谷、垣田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	1 1	1	0	1 3
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	1 2	0	0	1 3
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1	1 1	1	0	1 3
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	1 0	1	0	1 3

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>利用前の調査やアセスメントシートで情報の共有が出来ている。サービス利用時には、家族や本人の要望に沿うよう心がけている。利用開始時はもとより、継続して利用者と家族の不安を軽減させるような声掛けや関わりを行っている。利用者や家族から得た情報は、申し送りや連絡ノートで共有できるような体制をとっており、迅速な対応が出来るようにしている。家族からも、送迎時や連絡帳で情報を集めている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>利用初期に、関係作りのための訪問は時間的な余裕もなく、行っていないことが多い。始めから通いや泊りを中心としたサービス提供に偏っている。多機能としての役割や考え方の説明不足、家族の認識不足が原因ではないかと考えられる。家族が必要としている支援ではあるが、始めから長期の連泊利用など、小規模多機能としての良さを活かしていない利用がある。病院や行政関係者にも、小規模多機能の特性が十分浸透していないと感じることがあり、家族や地域住民を含めてしっかり説明できていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>小規模多機能の役割や特性の周知のための活動を行う。広報委員会と協力し、広報紙へ多機能の紹介記事を掲載したり、チラシを作成する。それと並行して、行政や病院などへ挨拶回りをして、適切な利用が保たれるように努める。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年1月17日(13:30~14:30)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 竹内、柿田、松川、平木、森田、横田、西谷、垣田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	0	5	5	3	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	7	5	1	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	7	5	1	13
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	9	3	1	13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
送迎時や利用中の会話から、本人のしたい事やそれにつながるヒントを聞き出し、実現に向けて動くことができている。関わった内容は、ケース記録だけでなく、職員の連絡ノートやスタッフ会、口頭伝達などで共有するように努めている。また、ケアプランに挙げられている当面の目標に沿ったケアの提供を意識し、関わるようにしている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域(自宅)での「～したい」まで掘り下げた把握や関わりには至っておらず、本人の持っているニーズをしっかりと捉えられていないと感じる利用者が居る。また「帰りたい」という思いを持ちながらサービスを利用している利用者に対しても、家族への働きかけができておらず、しっかりと受け止めて実現させるに至っていない。ミーティングでの発言も、職員によってばらつきがある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
ケアプラン更新月のスタッフ会までに、各利用者担当とケアマネなどが協力して本人のニーズを把握する。それをスタッフ会で他の職員に伝達し、新しいケアプランに反映させる。
本人のニーズがわかりにくかったり、聞き取り困難な方には、家族から聞き取る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年1月17日(13:30~14:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 竹内、柿田、松川、平木、森田、横田、西谷、垣田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	4	7	2	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	10	0	0	13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	5	5	2	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	10	0	0	13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	12	0	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
本人の状態や様子が普段と違ったり、体調に変化があった場合は、看護師やリーダー、厨房職員へ報告し、食事形態の変更や入浴する浴槽の変更など迅速に対応している。本人の気持ちが落ち着かない時は、1対1で散歩するなどの関わりを持ったり、居室でじっくり話を聞いたりすることができている。家族の協力が必要だと判断した場合は、電話で話をしてもらったり、受診をお願いしたりしている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
生活歴や環境について、自発的に喋る方や全く喋らない方、家族の意向として踏み込んで話ができない方など個人差があり、以前の暮らし方を10個以上把握することはできていない。ミーティングでの発言が十分とは言えず、自分が感じた事や気づいた事をしっかりチームとして共有したり言語化したりできていないと感ずることがある。利用者の声にならない声をくみ取るだけの力(技術)が十分に備わっておらず、言語化するに至らない職員も居る。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
以前の暮らし方や、趣味嗜好に関して、各利用者にアンケートを取る。質問項目が書いてある用紙と、自由に記入できる用紙を用意し、日常の関わりの中で聞き出したことやわかった事を記入していく。本人への聞き取りが困難な方には、家族に協力してもらい、情報収集をする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年1月17日(13:30~14:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 竹内、柿田、松川、平木、森田、横田、西谷、垣田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	7	4	2	13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	6	5	2	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	4	8	1	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	1	4	8	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>利用前の調査や、利用中の会話などで得た情報を活用し、これまでの生活スタイルをある程度理解できているが、個人差がある。通院や必要物品の購入など、事業所がするのではなく、家族に依頼し、本人との関係が切れないようにしている。自宅での過ごし方に関しては、送迎時や連絡帳で家族から情報を得ることができているが、利用者ごとにばらつきがある。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>本人と家族の関係性が切れられないような関わりには目が行くが、地域との繋がりや地域資源の活用までは目がいけない。家族の中には「利用を他人に知られたくない」と思っていたり、「預ってもらっただけでよい」といったケースもあり、地域資源を活用したり自宅での生活を話したりすることに積極的でない方もある。自宅や地域といった事業所外で過ごす事や、事業所外と関わりを持つことの重要性についての職員教育が行なえていないため、職員が把握できていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>地域資源とは何なのか、どのように活用していくのかといった事を全職員が理解できるように、勉強会を開催する。実調時にエコマップを作成し、本人を取り巻く環境(資源)を明らかにするとともに、関わる中で得た情報を書き足していく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年1月25日（13：30～14：30）

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 竹内、柿田、松川、森田、横田、西谷、岸本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	1	5	5	2	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	2	7	3	1	13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか？	1	11	1	0	13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	1	11	1	0	13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 回数は多くないが、小学校や保育所と交流を持ったり、家族と相談して認知症のある利用者の情報を交番に伝えたりしている。サービス提供も本人や家族の希望にできるだけ対応できている。本人の状態や、体調の変化などに気づき、臥床時間を増やしたり食事の形態を変えるなどの柔軟な対応ができている。申し送りや連絡ノートの使用で情報の共有もできている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 地域資源の活用について、直接的に関わっていないため「わからない」「出来ていないと思う」という意見が複数あった。職員の勉強不足や伝達不足もあり、地域資源を使った支援ができていない。事業所だけで支えようと考えがちであったり、「定額使い放題」という多機能の利点について、家族への説明が不十分である為、サービス過剰なケースが見られる。情報の共有や気づきについて、職員の能力に個人差があり、しっかりできていると言いつつも難しい時がある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 地域資源とは何なのか、どのように活用していくのかといった事を全職員が理解できるように、勉強会を開催する。事業所の行事やイベントなどの案内を地域住民や学校、医療機関や交番などに配布し、事業所と地域（資源）とのパイプを太くしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年1月25日(13:30~14:30)

6. 連携・協働

メンバー 竹内、柿田、松川、森田、横田、西谷、岸本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	0	1	1	11	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	3	0	10	13
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	4	4	5	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	10	3	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
全員ではないが、2か月に1回開催される運営推進会議に参加し、自治体や地域包括センターとの意見交換を行っている。区長さんなどから情報を収集し、地元の祭りの手伝いをしたり、清掃活動に参加したりしている。定期的に太極拳教室を開催したり、老人クラブの見学を受け入れたりすることで、登録者以外の高齢者が事業所を訪れる機会を作っている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
その他のサービス機関とは個別に話をしている状態であり、会議は行っていない。役職者やケアマネが主として関わっており、自分の担当外でわからないという職員も多い。運営推進会議についても、参加する職員は理解しているが、参加しない職員については「何のために」「誰が」など分らない部分も多かった。目の前の業務が優先されがちで、会議やイベント参加の優先度が低かったり、参加しづらい環境がある。事業所をPRして、地域住民や子供の訪問を増やす取り組みにも手が回らない状態である。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
その他のサービス機関との会議や運営推進会議があった時は、参加していない職員にも内容が分かるように議事録の回覧や口頭での申し送り、職員ノートでの伝達などで情報の共有を徹底する。「きたやまの日」を活用し、事業所全体で地域のイベントや行事に積極的に参加する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年1月25日（13：30～14：30）

7. 運営

メンバー 竹内、柿田、松川、森田、横田、西谷、岸本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか？	1	2	4	6	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	0	5	2	6	13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	0	4	2	7	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	0	3	6	4	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>利用者や家族から出た苦情や要望は、真摯に受け止め、素早く対応している。そうすることで、サービスの向上や、信頼関係の構築に繋がると思っている。地域の方からの意見も同様である。事業所単独で改善できることに関しては、特にスピード感を持って対応するよう心がけている。地域の行事に参加したり、事業所の避難訓練や祭りに参加してもらったりすることで、協働に向けた関係作りを行っている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>事業所のあり方について思うことはあっても、言う機会がなかったり名前を出しては言いづらかったりするため、言うことができない。苦情に関しては、自分が直接言われたことが無かったり、地域との関わりが薄い為に言われるような関係性が出来ていないのではないか。苦情が出ても、上司に報告する所までで終わっている。しっかり対応されているか、はっきりわからない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>意見や苦情が出た事を記入するノートを作成する。その中で「利用者・家族」と「地域・その他」を分け、さらに苦情とそれ以外（意見や要望）を区別する。意見や苦情の内容とその対応を併記し、皆にわかるようにする。重要な問題に関しては、翌日の朝礼で報告し、きたやま会（全体会議）などに諮る。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年1月25日(13:30~14:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 竹内、柿田、松川、森田、横田、西谷、岸本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1	10	2	0	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	6	2	5	13
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	3	10	13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	9	3	1	13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
特に内部研修には参加しやすい為、積極的に参加している。参加できない場合でも、資料を読んだり伝達講習に参加したりして、知識を得るように心掛けている。リスクマネジメントに関しては、委員会を中心として取り組んでおり、事故を未然に防いだり、起きてしまった事故の原因を分析して再発しないように努めており、成果も出ている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
上司からの指示や、全員参加の研修には参加しているが、任意の物や外部の研修には時間がなかったり勤務の都合により参加できていない。地域連絡会も、存在を知らなかったり自分の担当外なのでよくわからなかったりするため、出来ていないと言う意見が多くあった。リスクマネジメントも、何かが起こってからでないと行っていないので、積極的には出来ていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
職場内・外の研修に積極的かつ自主的に参加する。研修参加後、その内容について、他の職員にしっかり伝達し、皆が研修に参加したのと同程度のレベルになることを目指す。研修に参加した職員は、研修内容の中で「何が重要か」「何を伝達すべきか」を見極め、伝達を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年1月25日（13：30～14：30）

9. 人権・プライバシー

メンバー 竹内、柿田、松川、森田、横田、西谷、岸本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	2	9	2	0	13
②	虐待は行われていない	5	8	0	0	13
③	プライバシーが守られている	6	6	1	0	13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	3	1	7	13
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	9	0	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>3要件を満たした場合に限り、家族や医師の同意のもとやむを得ず拘束にあたる可能性のある対応を行ったが、その他は拘束にあたるようなケアは行っていない。虐待についても、本人の思いを重視し、尊重しているので行っていないし、他の職員が行っているのを見た事が無い。個人情報も、外部へ持ち出したりせず、必要なくなったらシュレッダーにかけて処分するなど、気を付けて対応している。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>条件付きではあったが、身体拘束に当てはまるような対応をしたことは事実であり、全くしていないとは言えない。虐待とは言えないまでも、言葉遣いなどがなれなれしい時などあると思う。成年後見制度は、事業所として積極的に勧めているわけではなく、対応を家族に任せていたり、ごく限られた職員が対応するため、様子の分からない職員が多い。それに対する研修なども行っていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>虐待や身体拘束に関しては、法人全体で力を入れている事でもあるので、研修や勉強会に積極的に参加する。また、その内容を基に、多機能での勉強会や研修参加職員による伝達会を行う。普段何気なくしている事がプライバシーの侵害になっていないか職員同士で指摘したり確認するようにする。</p>	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人やず	代表者	竹内 由明	法人・事業所の特徴	智頭産の杉をふんだんに使用した、落ち着いた環境の中で、利用者個々のペースに合わせた介護を行っている。材料にこだわった食事を提供し、季節の行事や外出レクリエーションなど、楽しみや喜びを感じてもらえるような取り組みを行っている。
事業所名	介護老人施設 きたやま	管理者	森田 仁		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	2人	0人	2人	0人	2人	2人	0人	5人	0人	13人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			サービス担当者会議をもっと活用した方が良い。 在宅生活を続けるようなケアプランや、家で普段の生活を続けていくことを目指していくべきではないか。	ケアプランが本人の意向や身体状態、生活歴などを加味した内容になるように、サービス担当者会議の実施方法を見直し、多職種や家族など多くの人が関われるものにする。
B. 事業所のしつらえ・環境			なかなか事業所の中まで入る機会が無いので、中の様子がわからない。 敷居が高く感じるので、入りやすく感じるような PR の仕方を工夫してはどうか。	事業所内でどういうことが行われているかが伝わり、誰もが事業所に足を運びやすくなるよう、チラシや広報誌を作成し、きたやまの中の事を発信していく。
C. 事業所と地域のかかわり			「きたやまだより」のような、きたやまだけの広報誌を作ってはどうか。それを近隣住民に配布すれば、知名度や地域とのつながりも高まると思う。	きたやま独自の広報誌を作成し、近隣住民に配布する。きたやま館内を作品などの展示場所とし、地域住民や保育所、小学校へその旨を伝える。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み			もともと、地元の行事などに参加していた人が、きたやまを利用することでその行事に参加できなくなってしまう可能性があるのではないか。	利用者本人を取り巻く関係性を把握し、地元の行事や地域での役割、自宅での日課など失われたものに再びつながりが持てるような支援を行う。
E. 運営推進会議を活かした取り組み			個別利用者の状況報告、きたやまを利用しだしてからの変化なども運営推進会議で報告してはどうか。 運営推進会議が、行事の報告で終わっている。	運営推進会議の内容を見直し、きたやまでの利用者の様子や変化が伝わるものにする。メンバーの選考や会の形態も検討し、様々な立場の人からの意見が聞ける会にする。
F. 事業所の防災・災害対策			事業所の防災計画を知る機会が無い。 家族や外部に向けての発信が無く、防災計画の有無がわからない。	風水害や地震などの災害に対する防災計画を早急に整備し、家族や運営推進会議へ発信する。 町の担当者へ、災害時の対応やきたやまの果たす役割を確認し、明確にする。